

就任のごあいさつ

このたび、6月16日開催の定時社員（代議員）総会において、会長を務めるようご選任いただきました鷺谷敏一です。

わが国の養豚産業は、この数年近隣諸国でのアフリカ豚熱や口蹄疫の発生などの不安にくわえ、国内の野生イノシシでの豚熱蔓延によるワクチン接種の負担や、種豚流通の分断など、関係各者の心労は絶えません。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した、エネルギー高や、飼料高騰によりこれまで以上に経営環境は厳しい状況に直面しています。

このような中、協会に課せられた社会的使命、SPF養豚事業の振興拡大に向けての取組む課題の大きさ、責任の重さを痛感している所でございます。

微力ではありますが、両副会長・坂口一平氏（全農畜産サービスピラミッド）、増穂賢志氏（シムコピラミッド）および理事の皆様のご指導・協力をいただき、誠心誠意努力してまいりますので、なにとぞよろしくお願ひいたします。さらに、事務局の運営体制を強化するため、専務理事に小林一彦氏に就任いただき、櫻町恭子氏には引き続き事務局長として力添えをいただくこととしました。

北島克好前会長におかれましては、赤池洋二元会長・最高顧問から協会を引き継ぎ強いリーダーシップを発揮され、協会運営に大変なご尽力を賜りました。そのご功績に対しまして、この場をお借りして心より感謝と敬意を表したいと存じます。

なお、赤池最高顧問には、当協会の名誉会長として、北島会長には顧問及び監事として、これからもご指導・ご支援を賜ることとなっております。

皆さまのご賛同を得て、このような輝かしい実績のある日本SPF豚協会会長を引き継ぐこととなりましたが、私たちを巡る状況は、大変厳しい状況が続くものと思われまます。

このような中でこそ、強みを発揮するのは『SPF豚』と確信し、協会会員およびピラミッド関係者のご意見、ご要望を十分に斟酌し、ご理解と協力を得ながら引き続き取組みを進めていく所存であります。

最後に、会員の皆さまには、今後とも、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げ、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

令和5年6月

一般社団法人日本SPF豚協会
会長 鷺谷 敏一